

令和3年第3回江田島市公共交通協議会（令和3年10月20日）

協 議 会 議 事 要 点 録				
会議名	令和3年度 第3回江田島市公共交通協議会			
日 時	令和3年10月20日（木）13時30分～15時00分			
場 所	能美市民センター2階会議室			
傍聴者	1名			
出席者	広島商船高等専門学校	教 授【議長】	岡山 正人	○
	江田島バス株式会社	代表取締役	大濱 博明	代理出席 尾下 裕昭
	江田島バス株式会社	従業員代表	畠藤 秀樹	○
	広島県旅客船協会	会 長	仁田 一郎	○
	瀬戸内シーライン株式会社	船員代表	谷口 実	×
	広島県タクシー協会江能支部	支部長	今宮 浩二	○
	江田島市自治会連合会	会 長	小跡 孝廣	代理出席 濱谷 一眞
	江田島市老人クラブ連合会	会 長	古本 眞機	○
	江田島市社会福祉協議会	会 長	堂野崎 平	○
	江田島市女性会連合会	会 長	宇根 民子	○
	江田島市観光協会	会 長	伊藤 富美雄	×
	中国運輸局	海事振興部旅客課長	今岡 俊之	○
	中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	石田 剛史	○
	広島県	地域政策局 地域力創造課長	藤井 剛	代理出席 柴田 益良
	江田島警察署	地域交通課長	桑田 光太郎	×
	江田島市	副市長【会長】	土手 三生	○
	江田島市	企画部長	奥田 修三	○
	江田島市	土木建築部長	水頭 顕治	代理出席 古江建設課長
1 開 会				
事 務 局	開会宣言			
2 会長あいさつ				
会 長	土手会長あいさつ			
3 議 題				

令和3年第3回江田島市公共交通協議会（令和3年10月20日）

(1) 報告事項	
ア 令和3年度第2回江田島市公共交通協議会の書面協議の結果について（資料1）	
議長	<p>それでは、議題の報告事項に入ります。</p> <p>まずは、報告事項のアとイの2点について、事務局から一括して説明を行います。それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	－資料1により説明－
議長	ただいま事務局から説明がありました。御質問、御意見はありますか。
委員	お出かけ無料乗車デーのチラシについて。江田島北部朝夕便とは、おれんじ号のことか。江田島北部朝夕便はおれんじ号の一部だと思っていた。これをパッと見たときに、分かりづらいと感じた。
事務局	おれんじ号は平日のみの運行で、江田島北部朝夕便は毎日運行している。11月1日のバス乗車無料デーは、江田島バス、おれんじ号、江田島北部朝夕便が対象。2月11日は祝日であり、おれんじ号が運休日のため対象ではなく、江田島バスと江田島北部朝夕便のみが対象となっているため、このような記載としている。
議長	ありがとうございました。他に御質問等がありますか。
各委員	（質問・意見等なし）
議長	それでは、次の報告事項に進めさせていただきます。
イ 中町/宇品航路船舶建造委託業務に係る公募型プロポーザル審査の結果について（資料2）	
議長	続いて、報告事項のイについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	－資料2により説明－
議長	ただいま事務局から説明がありました。御質問、御意見はありますか。
委員	「維持管理コストに配慮した主機選定」とあるが、主機とは何か。
事務局	主機とは、エンジンのことである。
議長	ありがとうございました。他に御質問はありますか。
各委員	（質問・意見等なし）
議長	それでは、次の報告事項に進めさせていただきます。
ウ 乗って江田島スタンプラリー2021の開催について（資料3）	
議長	続いて、報告事項のウについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	－資料3により説明－
議長	ただいま事務局から説明がございました。御質問、御意見はありますか。
委員	先日、江田島の牡蠣殻を使った文房具を小学生にプレゼントするというニュースを見かけた。江田島でしか手に入らない景品等があると魅力になると思う。
事務局	今回地元の景品として、江田島荘の宿泊チケットや牡蠣の詰め合わせ等を用意した。牡蠣殻を使った文房具はまだ市販されていないとのことだったため、今後参考

令和3年第3回江田島市公共交通協議会（令和3年10月20日）

	<p>にしたい。</p> <p>現段階の反響としては、応募は10通程度で昨年と同等のペース。終わりにかけて応募数が増えてくると思う。スタンプラリーのリーフレットを6,000部刷って各拠点に設置し、現在在庫が1,000部程度となった。広報にも力を入れているところである。</p>
議長	他に御質問はございませんでしょうか。
各委員	(質問・意見等なし)
議長	それでは、協議事項に移らせていただきます。
(2) 協議事項	
ア 江田島市地域公共交通網形成計画の評価指標の検証について（資料4）	
議長	それでは資料4について、事務局から説明をお願いします。
事務局	－資料4により説明－
議長	ありがとうございました。ただいまの説明について、何か御質問あるいは御意見がありましたら、お願いします。
各委員	(質問・意見等なし)
議長	それでは、「江田島市地域公共交通網形成計画の評価指標の検証について」は、御了解を得たということで、取りまとめさせていただきます。
各委員	(質問・意見等なし)
イ 江田島市地域公共交通計画の策定について（資料5）	
議長	それでは資料5について、事務局から説明をお願いします。
事務局	－資料5により説明－
議長	ありがとうございました。ただいまの説明について、何か御質問あるいは御意見がありましたら、せっかくの機会なので、皆さん時計回りをお願いします。
委員	<p>コロナ禍の影響で利用者減を懸念していたが、小中学生への定期代補助や大柿高校生への通学補助等の江田島市からの手厚いサポートもあり、定期収入はほとんど落ちていないことから、約10%の減少に留まった。昨年度に24時間乗り放題のデジタルチケットの販売を開始した。江田島市内の航路スタンプラリーも開催中とのことだが、港から港への移動時に、デジタルチケットを利用していただけたらと思う。</p> <p>また、広島県の事業として、土日祝限定で県内乗り放題となるデジタルチケットを販売している。このチケットは、県内36事業者が運営する様々な公共交通機関で利用でき、1日ないし2日間乗り放題で利用できる。ぜひ皆さんにご利用いただきたい。</p>
委員	中町・高田～宇品航路の公設民営が第2クールに入り、当初は毎年自然減で2～3%利用客が減っていく予想を立てていたが、新型コロナウイルスの影響で一度に10年分、2～3割の減少があった。西能美については、現状のままでは維持が不可能であるため、フェリーや高速船を効率よく組み合わせて、バスとの接続を行

令和3年第3回江田島市公共交通協議会（令和3年10月20日）

	<p>い、最大限効率化していかないといけない。</p> <p>今回の計画でかなり思い切った施策を取り入れて利便性を確保しながら、有効な便数を増やしていければと思う。例えば今日帰る際にも、何時に予定が終わったら何時にどの航路を利用して広島市に帰るか考えるが、各航路のダイヤが同じように組まれているため、空白の時間帯がある。どこかの栈橋まで出れば、広島市や呉市へムラなく行けるようにする必要がある。便数の削減等で効率化を図るというのではなく、スタンプラリーといった一時的なキャンペーンを含め、島の魅力・観光要素を生かす方向に力を入れ、リピーターになってもらえるような、来訪者を増やす仕組みづくりもやっていかななくてはならない。</p>
<p>委員</p>	<p>おれんじ号の利用状況について、三高～中町を運行している沖美南部線は利用が多く、通院・買い物等に利用されている。中町からバスに乗り換えてゆめタウン江田島に行く人もいる。利用者は大変喜んでいる。タクシー業界も人口減少と利用者減で厳しい状況だが、維持していこうと頑張っているの、今後とも宜しく願います。</p>
<p>委員</p>	<p>おれんじ号は、沖美南部線と沖美北部線の2つがある。沖美南部線は毎日運行しているが、沖美北部線は週に3日しか運行していない。病院には、体調の良し悪しで、おれんじ号の運行曜日以外も通わなくてはならず、運行曜日を増やしてほしいという要望が挙がっている。</p> <p>三高のフェリー便の車両航送運賃について。住民側からの勝手な意見だが、三高まで普通車が片道2,500円と高く感じる。加えて、フェリーは同乗者にもお金がかかる。事業者は大変だと思うが、気軽に利用できるような料金体系を考えてもらい、より多くの人に利用してもらおうようにしてほしい。車両ごと広島市や呉市に渡らなければ安いだろうが、足が悪く、車でないと移動が大変な人もいる。</p> <p>運航時間帯について、費用対効果の面もあるかと思うが、23時台に1便増やしてもらえると、プロ野球観戦や飲み会等へも参加ができて便利が良い。</p> <p>人口減少、コロナ禍で利用者減があると思うが、移住のPRを推進してほしい。他の市町ではやっている。テレビや新聞での宣伝や補助金等、外部から人を引き込めればと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>自分は船の専門だが、中町・高田～宇品の高速船の建造にあたり、船舶の引渡し前、船員が造船所に赴き、艀装について1ヵ月程度、細かい調整をする必要がある。実際に運航される瀬戸内シーライン(株)の船長・機関長とよく調整をして、立派な船が出来上がるようにしてほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>航路同士の連携、バスと航路の連携が大事である。フェリー・高速船両方合わせて15便ずつ便数があるとすれば、双方で時間帯をずらして、空白時間帯が無いようにしてもらいたい。中町・高田～宇品の便が無くても、三高～宇品の便の間であれば、バスで三高まで移動できれば、中町栈橋を利用するのと変わらない。</p> <p>以前航路のダイヤ改正で、終便が15分程度早まった。運航時間帯が縮小されてしまうと、利便性が低下する。運航時間帯は変えずに、運航間隔を見直すことで、調整できないか。公共交通を維持するために人口を増やしていくには、高齢者ばかりではなく、若い人に向けた施策を増やしてほしいと思う。</p>

令和3年第3回江田島市公共交通協議会（令和3年10月20日）

<p>委 員</p>	<p>船は利用するが、市内は自家用車で移動しており、普段バスやタクシーを利用することは殆どない。周囲から聞く意見としては、遅い時間帯に船便があれば良いという意見がある。</p> <p>また、運賃が高いという意見もある。特にフェリーの車両航送料金が高く、陸路を利用する場合もある。朝夕は分からないが、日中のバスは空で走っていることがほとんどだと思うので、今後は意識して公共交通を使っていきたいと思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>昨年にも周知したが、コロナ禍で航路事業者が減収になっており、今年度も収入が30%以上減少した航路については、係船料の減免などの取組に努めている。</p>
<p>委 員</p>	<p>資料5の1について、一点質問がある。観光客の約半数以上が自家用車とのことだが、残りの4割は公共交通機関による移動なのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料5の2、10ページ図19のところで、下からバス・船舶に関しては合計して13.5%、自家用車は54.6%、残りは知人に乗せてもらうなど、その他という結果になっている。</p>
<p>委 員</p>	<p>交流人口を増やすことが重要であると考え。自家用車以外の4割の方に、公共交通で来てもらえるのであれば、近年流行でもあるデジタルツールを使って島内の周遊してもらえたらと思う。公共交通計画の施策にもつながってくると思う。</p> <p>また広島県では、9月の補正予算を使って支援メニューを3点用意している。1点目に減収率の大きいバス路線・航路を路線ごとに見て、その収益差の一部を支援するもの。2点目に中山間地域のバス事業者に対し、一律200万円の支援金を給付するもの。3点目に新型コロナウイルス対策の経費に配慮して、タクシー・バス・船・鉄道について、1台当たりの定額を支援するもの。交通事業者の方向けに、改めて案内させていただく。</p>
<p>委 員</p>	<p>普段は主に陸上交通を担当している。江田島市の前計画の振り返りでは、策定時点のバス利用者が多く、そこからガクンと利用が減少しているものの、計画期間中の5年間はある程度維持されている。計画に位置付けた取組によって、利用者数を維持されたとも受け取れると思う。タクシー協会さんの話にも、おれんじ号が非常に助かっているなど、地域の話があったが、地域毎の声を聴き利用の傾向がわかれば、今後どう変えて行けばいいか、ヒントになると思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>これまで色んな公共交通の会議に参加してきたが、利用者が減っているのは、この地域も同じである。公共交通を利用したことが無い、という住民の話も聞く。再編や集約ができるかといえば、将来的に乗るから残してほしいと言われる。そのために何をしなければならないのか。</p> <p>人口を増やす取組も、上手くいくかは地域によって様々である。観光も何がヒットするかはわからないため、難しいところではあるが、生活利用だけでは限界もあるため、江田島市ならではの観光資源を活用して積極的にPRをしていってほしい。</p> <p>利用したことがない人に対しても、対策を考えていかなければならず、運賃を下げれば利用者が増えるというものでもない。今後も様々な意見を聞かせいただき、皆さんと一緒に考えていきたい。他地域の良い事例があれば、この場で今後も紹介させていただく。</p>

令和3年第3回江田島市公共交通協議会（令和3年10月20日）

委 員	<p>色々な意見が出ているが、事業者サイドから見れば、経営という視点が重要になり、住民サイドに立てば、いかに安く、サービス水準を維持・向上させるかが重要視される。</p> <p>人口減少・利用者減少の中で、将来にわたり、どうやって江田島市の公共交通を維持していくか。仁田会長も仰られていたように、あらゆる手段を講じて、どうあるべきかをみんなで考えていく必要がある。居住地域のエゴも出てきてしまうと思うが、俯瞰的に物事を考えるような場で、江田島市としてどのような形で公共交通を残していくのがベストかみんなで考える、このような利用者・事業者が集まる会議が非常に重要である。今後も計画策定にあたり、皆さんから忌憚のない意見をいただきたい。</p>
委 員	<p>貴重な御意見をありがとうございます。頂いたヒントを基に、点を線に結んで各所が連携していくことで、新たなアイデアも出てくると思う。本日いただいた意見も、次期計画に盛り込んでいき、少しでも市民の皆さんに喜んでいただけるような公共交通にしていきたい。</p>
議 長	<p>経験上、利便性を向上させても、公共交通機関を使おうとする人はそんなに増えない。自家用車を利用する生活スタイルが刷り込まれてしまっているのが、最大の抵抗だと思う。</p> <p>都会のように、車以上に便利な公共交通機関ができれば利用されると思うが、なかなかそうはいかない。極端かもしれないが、ヨーロッパでは車を抑制する政策が増えている。</p> <p>江田島のような地域で車なしというのは、かなり難しいことと思うが、公共交通を自分たちで守っていくという、住民の意識改革も大事なキーポイントなのではないかと思う。</p>
議 長	<p>最後に、「その他」の事項であります。何か御意見・御質問等がありますか。</p>
各 委 員	<p>（質問・意見等なし）</p>
議 長	<p>事務局から、「その他」ありますか。</p>
事 務 局	<p>事務局から事務連絡が1点あります。</p> <p>次回の協議会についてです。令和3年度4回目の公共交通協議会については、12月下旬に開催したいと考えています。会議日程が決まり次第、お知らせしますので、御出席いただきますようお願いいたします。</p>
議 長	<p>その他、ございませんでしょうか。ないようでございます。</p>
6 閉 会	
議 長	<p>それでは、以上をもちまして、本日の協議会を閉じさせていただきます。誠にありがとうございました。</p>